



NEWS RELEASE

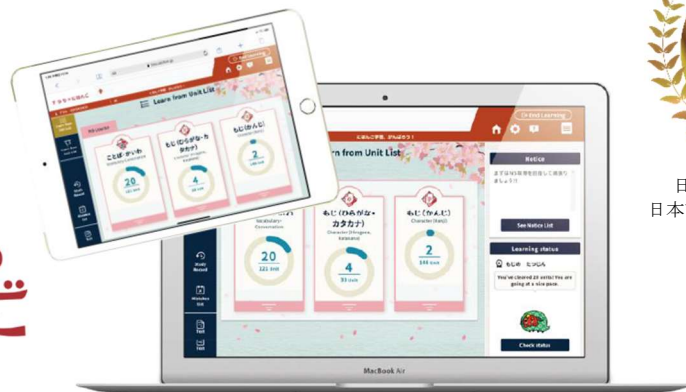
株式会社 すららネット
2026 年 9 月 1 日

「合格する日本語」から「使える日本語」へ 「すらら にほんご」に N3 コースを追加 敬語や場面に応じた表現を、シチュエーションの中で学ぶ

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、日本語学習 ICT 教材「すらら にほんご」に、日本語能力試験（JLPT）N3 レベルの新コースを追加し、2026 年 9 月 28 日より順次提供を開始します。

「すらら にほんご」は、これまで初級レベルにあたる N5・N4 コースを提供しており、今回新たに N3 コースを加えることで、初級からより実践的な日本語まで段階的に学べるようになります。


すらら
にほんご



日本 e-Learning 大賞
日本語教育特別部門賞 受賞

日本語学習ニーズが拡大する一方、初級（N5・N4）修了後に実践的な日本語を学べる環境は限られています。新コースでは、敬語や意味の近い表現を、シチュエーションの中で学習できるコンテンツを提供します。

「試験に合格するための日本語」から、「日本で学び、働くために使える日本語」へ。N5・N4 に加え、新たに N3 へ対応することで、学習者一人ひとりの継続的な日本語学習を支援します。

初級を終えた後の「学びの空白」 学校・就労で求められる日本語力の高まり

日本国内で日本語を学ぶ外国人は増加を続けています。文部科学省によると、日本語指導が必要な児童生徒は 8 万 8,045 人となり過去最多を更新しました^{*1}。また、外国人労働者数も 257 万人を超え^{*2}、学校や職場など、日本語を使う場面はますます広がっています。

一方で、日本語学習は初級レベル（N5・N4）を修了すれば十分というわけではありません。学校では授業を理解するための「学習言語」が、就労現場では円滑なコミュニケーションを行うた

めの敬語や表現の使い分けが求められます。しかし、初級修了後にこうした実践的な日本語を継続して学べる環境は限られています。

実際に、N3を取得して来日した留学生でも、日本語で行われる授業についていくため、日本で改めて日本語を学ぶケースが見られます。また、技能実習生や特定技能外国人からも、「日本で働き始めて初めて、日本語力不足を実感した」という声が寄せられています。

こうした初級のその先の学習ニーズに応えるため、「すらら にほんご」は今回、新たに JLPT N3 レベルへ対応します。

※1 出典：文部科学省「令和7年度 日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果」（2025年5月1日現在、2026年5月25日公表）

※2 出典：厚生労働省『『外国人雇用状況』の届出状況まとめ（令和7年10月末時点）』（2026年1月30日公表）

「知っている」から「使える」へ N3 で求められる日本語力とは

JLPT の N3 では、語彙や文法を理解するだけでなく、相手との関係や会話の場面に応じて適切な表現を選ぶ力が求められます。同じ内容を伝える場合でも、相手や状況によって自然な表現は異なるため、敬語や似た意味を持つ表現を適切に使い分けことが重要になります。

そこで「すらら にほんご」N3 コースでは、語彙や文法を覚えるだけでなく、シチュエーションの中で表現の意味や使い方を学ぶことで、「知っている日本語」を「使える日本語」へとつなげるとともに、N5・N4 で培った基礎から実践的な日本語力へと無理なくステップアップできる学習を実現します。

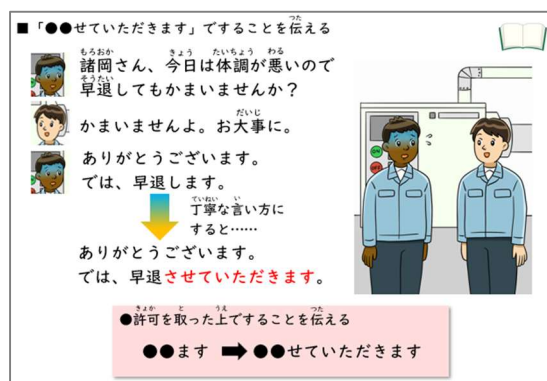
【「すらら にほんご」N3 コースの特長】

1. 日本で学び、働く場面を想定した実践的な会話

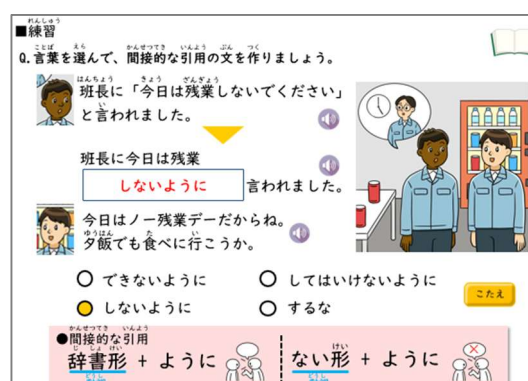
N3 コースでは、学校生活や職場など、日本での生活や就労を想定した会話を数多く収録しています。単語や文法を個別に暗記するのではなく、「誰が、誰に、どこで、何のために話しているのか」という状況設定の中で学ぶことで、場面に応じて使える日本語を身につけます。

会話例や例文は、日本語教育の監修者と検討を重ね、日常のコミュニケーションで使われる表現をもとに作成しました。学校や日常生活、就労の場で求められる実践的な日本語力の習得を目指しています。

※画面は開発中のものです。実際の仕様とは異なる可能性があります。



▲社会人が接するさまざまな状況を設定し、場面に
応じた適切な表現を例示。



▲日常のコミュニケーションで活かせる実践的な
日本語力が身につく。

2. 敬語や似た表現の「使い分け」が身につく

新コースでは、敬語や意味の近い表現について、人物の立場や表情、場面をアニメーションやイラストで示しながら学習します。同じ意味でも「どの場面で、どの表現を選ぶべきか」を視覚的に理解できるため、言葉だけでは伝わりにくいニュアンスの違いや丁寧さも自然に身につけることができます。

「試験で正解できる日本語」から、「実際の生活や職場で使える日本語」へ。場面に応じた表現を使い分ける力を身につけ、日本で生活し、働く中で求められる実践的な日本語力の習得を支援します。



▲【移動】話者の視点を基準に、近づく／遠ざかるという移動を言うニュアンスを解説



▲【変化】既に学んだ表現とのニュアンスの違いや、変化する様子を言うというニュアンスを解説

3. N5・N4 から無理なくステップアップできる学習設計

N3 コースは、これまで提供してきた N5・N4 コースで学んだ内容を土台に、より高度な語彙や文法、敬語表現へと段階的に学習を進められる構成です。監修者と検討を重ね、関連する表現は比較しながら理解を深め、混乱しやすい項目は段階的に習得できる独自のカリキュラムを設計しました。

また、N3 コースでも、「すらら にほんご」の対話型レクチャーとスモールステップ型の学習設計を採用しています。アニメーションと音声によるレクチャーで学んだ内容を直後のドリルで確認することで、理解が不十分なまま次の学習へ進むことを防ぎます。日本語の意味や一部の解説は学習者の母語で確認できるため、一人ひとりが理解度に応じて自分のペースで学習を進められます。

さらに、指導者は管理画面から学習時間や進捗、到達状況を確認できます。日本語力が異なる学習者が混在する学校や日本語教育機関でも、一人ひとりの学習状況を把握しながら、状況に応じた指導や声かけを効果的に行うことができます。これにより、学習管理にかかる負担を軽減するとともに、一人ひとりへのきめ細かな指導を支援します。

誰もが「使える日本語」を学び続けられる環境を国内外へ

すららネットはこれまで、国内の小中学校や高校、夜間中学、日本語学校、学習塾に加え、海外の教育機関や日本での就労を目指す外国人向けの教育現場へ「すらら にほんご」を提供してきました。2026 年 7 月には対応言語を 14 言語へ拡充し、母語で内容を確認しながら学べる環境を整えるなど、学習者の多様な背景に応じた日本語教育を進めています。

今回の N3 コース追加により、日本語を学び始める段階から、日本で学び、働き、暮らす中で求められる実践的な日本語まで、継続して学べる環境をさらに広げます。

すららネットは今後も、日本語を学び始める初級レベルから、日本で学び、働き、暮らすために必要な実践レベルまで、切れ目なく学べる教材開発を進めます。学習者一人ひとりが、それぞれの目標に向けて継続して日本語を学べる環境づくりを通じて、多様な学びと社会参加を支える日本語教育の実現を目指してまいります。

■日本語学習 ICT 教材「すらら にほんご」

「すらら にほんご」は、日本語を学ぶ外国人を対象とした ICT 教材です。学校で学ぶ児童生徒だけでなく、日本語学校や海外の教育機関、就労を目指す外国人など、幅広い学習者に利用されています。日本国内では、2025 年から全国の夜間中学を中心に、学習塾などでも導入が拡大しています。日本語教育分野での取り組みが評価され、第 22 回日本 e-Learning 大賞 日本語教育特別部門賞を受賞しています。

コンテンツは、学習者のレベルに応じて基礎から応用まで段階的に学べる構成となっており、書写機能を使って文字を書く練習も可能です。また、意味を母語で確認しながら学習できるため、初学者でもゼロから一人で学び進めることができます。さらに、アニメーションキャラクターの登場やゲーミフィケーションの要素を取り入れ、学習意欲を高める工夫も多数搭載。世界中どこにいても、正しい発音で日本語を体系的に学べるのが特長です。2026 年 7 月に対応言語を 14 言語へ拡大し、20 か国以上の外国ルーツを持つ学習者が、母語で日本語を学べる環境を整備しました。

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 3,100 校以上の学校や学習塾で導入され、約 26 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>